

# ICTで高齢者見守り支援 実証実験



沼田町、奈良県立医療大学  
MORI（医学）を連携とするま  
ちづくり（研究）所、MORIリ  
ンク（本社・奈良）は10日、  
地域活性化と人材育成、実務

## 沼田町

奈良・MORI研などと連携協定  
協定を締結した。地域活性化  
に関する協定の交換式を開い  
た。今後は、ICTを活用し  
た高齢者見守り支援事業  
などへの取り組みとして、実証実  
験などを進めよう。

2005年度に後期高齢者  
人口がピークを迎える沼田町

3者が協定書を交換した

は、持ち家率が高く健康高齢  
者が多いため、在宅医療介護  
地域包括ケアのまちづくりを  
向けた研究を行っており、19年  
にはMORI研究所と連携してセ  
ンサーを活用した健康増進・  
予防の実証実験に取り組んだ。

## 奈良・MORI研などと連携協定

これらの結果と協定を家族つ  
ま、「医学連携」であるICT  
Tを活用した見守り支援事  
業」としての取り組みを協定  
を締結する。生活状況や生活  
データを扱い、高齢者が自分  
の健康状態を把握して健康増  
進につながる取り組みと併せ  
て、遠方に住む家族と健康情  
報を共有し見守りが可能にな

るシステム形成を目指す。

この成果を「ミニミニマイ  
や地域活性化」などに生かすた  
め、マスタープランを20年度  
内下まとめる。主な項目とし  
て、設計中の高齢者共同住宅  
に接続する内野診療、福祉施  
設等のデータ共有、活用の方  
向性などを協定している。

協定書交換式には横山茂町  
長、MORI研究所から横井裕  
司所長、MORIリンクから梅  
田直也代表取締役が出席。梅  
田代表は「データ連携がいたん  
なに積極的な自治体は初め  
て。この協定でしっかりやって  
いきたい」と語った。横山町  
長は「今回の研究が全国の高  
齢者や家族が安心して暮らせ  
る仕組みづくりに寄与できた  
ら」と述べた。

（横山茂町）